

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	6 月	27 日	記入者	大谷 巳弥子
調査者名	久門	大谷	垣内	鶴田	

文化財名	志都美(しずみ)神社社そう				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1996年(平成8)3月22日				
所在地	香芝市今泉582				
所有者 管理者	志都美神社				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	神社の説明板と並んで社そうの説明板も設置されている。				
公開	自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	近年の台風や大雨のためか、倒木がたくさん切り揃えて並べられていた。				
今後の課題	特になし。				
その他 (由緒など)	志都美神社は813年創建と伝わる古社で、その社そうは、北隣にある武烈天皇陵の樹そうと一体となって残されている。巨樹は少ないが、高さ約20メートルのコジイを優占種とし、アラカシ、クスノキ、サカキ、スギ、ヒノキなどで構成される照葉樹林で、長年にわたり人手が加えられることなく、みごとな林相が形成されている。				
コメント	明治12年8月にコレラが流行した時、氏子がコレラ侵入防止を祈願したところ、ひとりの患者も出なかったことを感謝して奉納した石碑が、本殿背後の石垣に埋め込まれていて、大変興味深い。 また、神宮寺として、清水明王院が明治の神仏分離令が出るまでであったとのこと。 平坦な住宅地の中に残る森林なので、環境保全のためにも大切に保護されることを願う。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	6 月	27 日	記入者	大谷 巳弥子	
調査者名	久門	大谷	垣内	鶴田		

文化財名	志都美(しずみ)神社社そう
------	---------------

志都美神社一の鳥居	拝殿の後ろに社そうが広がる
-----------	---------------



説明板	神社近くの森林内
-----	----------



切り揃えられた倒木	明治13年のコレラ撃退記念碑
-----------	----------------

